



夕刊 (刊)

改革概論(天)

大内民憲

第二章 出發點

國力充實

明治維新の國民教育は第一歩に於て其出發點を誤つたが爲に六十年後の今日に於て行き詰りを來たし、如何とも收拾すべからざる状態を呈するに至つたのである。前章の覆へるには第三小學校正門通路開設其他相當議論を含む案件昭相維新に於ては此を控いてゐるが本年度の追加豫算に對する縣の承認が來ないのと家屋稅調査委員會有るものと見られて市駐在加藤敬義氏に決定し近々着任の由。

土木委員の改選と

第三校の正門路

町民に興味視さたる

平町會は來廿日頃か

近々招集の筈である平町會は來廿日頃か。五千人、局長及局長代理の推薦等。最高のも、賣れずで一月精々五百と云ふ所、料理屋で云へば千五百が最高部の下々の下を掲ぐれば藝妓も茶屋も十日間の一行司に三日乃至五日のお茶引と云ふ惨めさ斯んな不景氣が一月と續いたなら廢業が續出しやうと唱へられて右に就て藝妓置屋が青臭吐臭ながら左記の如くこぼした。

委員會

昭相維新に於ては此を控いてゐるが本年度の追加豫算に對する縣の承認が來ないのと家屋稅調査委員會有るものと見られて市駐在加藤敬義氏に決定し近々着任の由。

決定通。り通過しない場合は同問題が再び新規な場合に直に成るかも知れず頗る興味視されてゐるが同町會の案件は大休左記の如きものであらう。

土木費追加南町新設道路共済病院協以東の全業をふるむらして上らせてゐたが線約四萬圓、第三校正門路開設費約三千五百圓、日間本縣佐川技手による受胡摩澤地内縣道より高月検査敷はトラック六十余臺

此を維持し之を發展し之を向上するの道を講じなければならぬのである。然らば我國狀、我國力はどうかと申しまするに矢野恒太郎氏は其著「日本國勢圖會」によく之を説明してありますので之を引證いたします(前略)最近に至りては

人の文明著しく進歩し他人種を壓倒して覇を天下に稱する様になり、歐洲本國は勿論遠く南北兩米より亞非利加にまで北歐人の天下を有利有色人種の國も亦大抵其支配下に糾合し野

地方の景氣不景氣を即知し得る平町花柳界の近狀は眞に現代世狀を直聞せる影を呈してゐるが大体百十名前後を持統する紅裙連の總元締である藝妓屋組合に於ける本年一月以來五月までの總玉數は一萬四千六百九十八本で前年同期の一萬七千七百に比し實に三千本を減少してゐる五ヶ月平均の

白色人種 中就中北歐

日頃の不景氣と 平町の花柳界

藝妓屋も料理店も前年に比べて二割減收

地方の景氣不景氣を即知し得る平町花柳界の近狀は眞に現代世狀を直聞せる影を呈してゐるが大体百十名前後を持統する紅裙連の總元締である藝妓屋組合に於ける本年一月以來五月までの總玉數は一萬四千六百九十八本で前年同期の一萬七千七百に比し實に三千本を減少してゐる五ヶ月平均の

最高のも、賣れずで一月精々五百と云ふ所、料理屋で云へば千五百が最高部の下々の下を掲ぐれば藝妓も茶屋も十日間の一行司に三日乃至五日のお茶引と云ふ惨めさ斯んな不景氣が一月と續いたなら廢業が續出しやうと唱へられて右に就て藝妓置屋が青臭吐臭ながら左記の如くこぼした。

吾々の家は祝ひの一月と花の四月及び諸會社のボーナスが出る十一月が一番盛んですが今年は一ヶ月も四月も二割以上の減少です最高千七百圓の藝妓を抱へて衣類からの食料それに病氣でもされたら堪えられたものでは臣より國產獎勵委員會に諮し

又右の法律の適用品目の審議とは別に各省の購入の外國品中内國品と代ふべきものと外國品購入の不正得ものとこの區分如何を大藏大臣より國產獎勵委員會に諮し

同委員會では我が工業品(品目六三〇)の鐵道用品目に就いても獨り官廳の實行中品質又は價格に於て外國國產品を以て代へ得べきのみには目的を達するに比し遜色なきものは内國品に代ふること可とし國產品に代ふることが證明されれば、更に各官廳の購入外で初めて全体としての効果省をして強制的に國產品を國產品は約一億圓であるからを收むることが出来るので

日までに選定された品目は圓に達するのである。然し中央地方の財界の緊產品の使用に方つて感情的

最後一言附加するが國

又最近鐵道省に於ては國縮が民間經濟の節約と相俟愛國心に訴へて合理的經濟產品使用獎勵委員會を組織して國民經濟上の効果を擧げる見地を無視することがある

同様に國產品使用してはならぬ(三三)三三稿

七千四百九十圓七十七錢を増額された各町別を上げれば左記の如くである。

▲泉三六六六〇(三三九〇五九) 渡邊二〇〇四八六(一七二二三七) 植田四六三三四四(三八二九九) 山田二九六三九九(二四一四六二) 錦三四四〇八三(二九〇四二二) 勿來六五〇五六九(五六五七七二) 止遠野四三二一〇八(三三二一五) 入遠野三八三〇二二(三一七一〇) 川部三四八二二(三三二二四九) 田八四二七七〇六(三四八八八) 飯野二八四三(一九九七一) 飯野二八二六八二(一九九七一) 夏井二二三〇九九(二〇一〇九) 高久二〇九九(七七二五三八六五) 豊三二二二二二(二六七八四) 江名四三三六四〇(二四三三三) 鹿島一四三三三三(一六五〇) 小名濱七二二九六一(五六九三六一) 玉川二〇七九三二(一七八二九) 磐崎九三三五〇二(八二八八七) 湯本二九三五六四(一〇三三三) 内郷二〇八八〇(一六六四八) 好間二二六五二(八〇六五) 赤井六九三六九(六〇三三三) 永戸二六四八〇(二四五〇七) 箕輪一二七三〇八七(一

一九六九九) 澤渡一七三〇八七(一六七七九三) 坂二七六四七〇(二四九六一〇) 神谷三三三〇五二(三二五二五) 草野四二五九五六(三五七七五〇) 大浦三八二七二四(三三七一一〇) 四倉五九九六九四(五二八四九九) 大野三二二三四九(二九九七六〇) 平窪二六一八二

六(二五五一四) 小川三二五九八(一三〇三四六) 坂二七六四七〇(二四九六一〇) 神谷三三三〇五二(三二五二五) 草野四二五九五六(三五七七五〇) 大浦三八二七二四(三三七一一〇) 四倉五九九六九四(五二八四九九) 大野三二二三四九(二九九七六〇) 平窪二六一八二

家調の第二次委員 民政黨の戦が見物 來る九日開催の第一次

Table with columns for names and amounts. Includes entries like 泉三六六六〇, 渡邊二〇〇四八六, etc.

家調の第二次委員

民政黨の戦が見物

來る九日開催の第一次

委員會のへき頭に互選

平町に於ける家屋賃調査候補者は會報の如く井上政第一次委員會は來る九日か友に比較的安全を傳へられ四日間同町會議事堂に開野崎對前澤兩氏の民政黨に催の筈であるが會議のへき於ける競争に相當の進行運頭に於て行はれる第二次委員會が交へられてゐる現狀は員選舉は果して何れに勝利勢力相伯仲の觀で此の結果を獲せられるか政民兩派のを見ものとされてゐる。

氣の毒な 少年の死

幼児の犠牲

石城郡湯本町の稲田實(三)附近のものが馳つけ一雄は去三日午後三時頃同郡警衛隊に救助されたが犠牲になつた。同地貯水池に轉落溺死せんと

經濟方面

國產品使用 獎勵の方法

又右の法律の適用品目の審議とは別に各省の購入の外國品中内國品と代ふべきものと外國品購入の不正得ものとこの區分如何を大藏大臣より國產獎勵委員會に諮し

同委員會では我が工業品(品目六三〇)の鐵道用品目に就いても獨り官廳の實行中品質又は價格に於て外國國產品を以て代へ得べきのみには目的を達するに比し遜色なきものは内國品に代ふること可とし

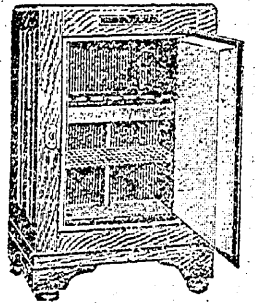
國產品に代ふることが證明されれば、更に各官廳の購入外で初めて全体としての効果省をして強制的に國產品を國產品は約一億圓であるからを收むることが出来るので

日までに選定された品目は圓に達するのである。然し中央地方の財界の緊產品の使用に方つて感情的

最後一言附加するが國



冷蔵器



製造元 丸 ぽん

平町 三丁目 電話三五九番

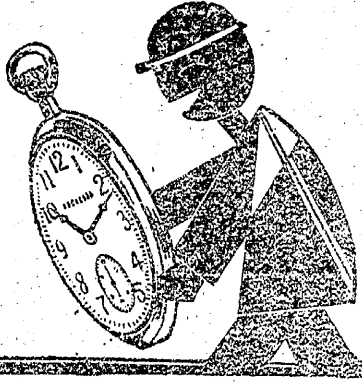
入院應需 自炊の便あり

明雲堂眼科醫院

平驛前 電話六六九番

愛國産

時計は信用ある精工舎製品を



特約店 大谷時計病院

平町三丁目 電話十九番

初夏のアイスクリーム
サロンの初めまして一杯十五銭

ごうぞ御散歩がてらに御来店を
美味で 評判の 平町田町サロンの
サロンの公休日に毎月第三日曜 電話三五二番

樽詰生ビール並に
タンク入ソーダ水
平町のソーダファンテン
各種 十五銭
各種 十五銭
各種 十五銭

看護婦 急派の求めに
平看護婦會 電話三〇七番

市原醫院
外科 小兒科 梅毒 淋病
平町 電話一四一四番

恐怖時代の
動脈硬化症 預防及治療新藥
アイヨイ錠
試用二圓
中瓶六圓
大瓶廿圓
發賣以來 白熱的に 歡迎せらる
特約店 山野邊藥局
平町五丁目

豆と晒あん
北海道のよいお豆
純小豆製のよい晒あん
お電話なり下さるば多少に拘らずお届申上げます。
田卷隆一商店
平町紺屋町十三・電九〇八

時計と修理の御用命は
平町土橋通り
精幸堂時計店
示時正確...大々の勉強

金和 金屋 金屋 金屋
價を低く 質を高く
良品廉賣
本店のモリタヤ
大屋商店
平町五丁目 電話三五三番

磐城名産 酒銘
味経美 油醬ルマヤ
社会名合崎山
番十話電

霜降小倉學生服特價提供
便利と・經濟を兼ねたる
小學生用 ¥ 65
同 極上 ¥ 95
中學生用 ¥ 1.90
女 生 服 ¥ 1.20
兒 童 服 ¥ 1.00
モリタヤ洋品店
五丁目 電話三五三番

最新流行 會津桐材
自製専門
小松はき物店
磐城平二丁目 電話九一〇番

生徒募集
玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

磐城自動車學校
本校内容は先づ卒業生に聴け
本科一ヶ月五拾圓受験料一ヶ月拾圓其他短期科夜學科あり學則送る
平町四軒町

ライト 寫真館
平町才樋小路 電話八四七番